

クラス NO	504	担当教員	加茂 浩靖
テーマ	地域に学ぶ地域経済学		
著書・論文 研究課題等	著書・論文 研究課題等: (論文) 「労働市場の地域構造—日本における労働市場の地域的構成研究の課題—」(単著)、『人文地理』、2004年。 「公共事業縮小下における島根県中山間地域立地の建設企業雇用の変化と建設業従業者の生活への影響」(共著)、『島根県中山間地域研究センター研究報告書』、2004年。 「わが国における業務請負業の労働力調達行動—東広島市に立地する業務請負企業を事例に—」(単著)、『地理科学』、2006年。 「東広島地域における老人介護サービス業の展開と女性の就業」(共著)、『地理科学』、2006年。		

ゼミ概要
<p>1. 目標</p> <p>このゼミの目標は、地域経済学の考え方や分析方法を基礎にして、地元知多半島や国内外の各地域を事例にした調査実習を体験し、問題発見・問題分析・問題解決の思考方法を身につけることにあります。</p> <p>地域経済の実情を身をもって体験するのがこのゼミの特徴です。このため、フィールドワークによる資料収集やコンピュータを用いたデータ分析を行いません。フィールドに出て苦しいこと楽しいこといろいろ経験しますが、がんばれば社会に出て通用する調査研究能力が身につきます。</p> <p>2. 内容</p> <p>日本の観光地の中には、観光客が訪れず閑散とした地域がある一方で、国内のみならず海外からも多くの観光客を集めている地域もあります。このように経済の状況は地域により様々です。また、スーパーマーケットでは地元で作られない珍しい食品を見かけることがあります。すなわち、私たちの生活はその地域だけで成立しているのではなく、様々な地域との結びつきの中で成立しています。「なぜ経済活動に地域差が生じるのか」、「ふだん食べている食品がどこから調達されているのか」、こうした疑問に答えるのが地域経済学の課題の1つです。この課題を解決するためには、地域経済に関連する理論を学び、それを現実経済に当てはめて考えること、そして、実際に現場へ足を運び、そこで見た情報や関係者から聞いた情報等をもとに、実態を明らかにすることが大切です。このゼミでは、地域経済に関する理論を学び、確かな問題意識のもとに実証分析を行ない、解決策を検討してゆきます。</p> <p>なお、専門演習Ⅲ・卒業論文では自分の関心に基づいて幅広い分野からテーマを選ぶことができます。一例をあげると「地場産業を生かした観光振興」、「名古屋市におけるウォーターフロント開発」、「地理情報システム (GIS) を用いた公共施設の適正配置分析」等です。</p> <p>3. 授業の進め方</p> <p>2年次： テキストを用いた専門分野の学習 コンピュータを用いた統計資料分析、分析結果のグラフ化・地図化・プレゼンテーション</p> <p>3年次： 地域調査研究、地域調査実習（事前の準備演習を十分に行なった後、学外へ出かけて地域調査を実施します）</p> <p>4. 履修上のお願い</p> <p>(1) 遅刻や無断欠席をしないこと。 (2) フィールドワーク、企業訪問、合宿等に参加できること。 (3) 企業や行政機関等を訪問する際に、服装、言葉づかい等をきちんとできること。 (4) 共同学習や共同研究を行う際に、周囲の人たちと協力ができ、また礼儀正しく接することができること。 (5) コンピュータの技術を修得するために時間をかけることができること。</p> <p>5. その他</p> <p>地元のことを深く知りたい人、地方公務員など地域との関わりが強い職をめざしている人、アウトドアが好きな人、旅行が好きな人等にはこのゼミをおすすめします。</p>

使用テキスト
授業で指示します。